

## JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部	北海道支部	(2) 記載者氏名: 池 昇一	会員番号:	13234	事務局整理記入欄	北海道 - 171
分水嶺区分	H043幌内越峠～H044 628.9m	(3) 山行日:	2005年	2月	5日	(4) 天候 曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

富樫正悟	ナシ	CL				
鈴木邦輝	ナシ	SL				
国沢悟	ナシ					
計			3名			計

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	H043幌内越峠からH044三角点628.9mまで												
アプローチ:	道道の幌内越峠まで車で行ける。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点H043	幌内越峠	幌内越峠	142	41	45.43	44	28	40.49	331	-	9:05	B-4	
分水嶺離別点H044	628.9m三角点	幌内越峠	142	43	16.28	44	27	38.45	630	12:11	12:14	B-4	
歩行終了点	幌内越峠	幌内越峠	142	41	45.43	44	28	40.49	331	14:26		B-4	
総歩行時間(休憩時間を除く):											4時間34分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H044	628.9三角点	不明			雪の下で不明

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

不明

(10) その他の特記事項

一応偵察目的で出発するが、ナビにデータを登録し、本番扱いとした。幌内越峠のパーキングと分水嶺のラインがずれているが気にせずパーキングから出発する。446mのピークと双耳になっているピークを過ぎ、次のピークで分水嶺のラインが鋭角になっています。不思議でなりません。地形的にはなんら特別なことはなく、普通のピークでした。本日の最終地の三角点628.9mは、当然雪の下で発見できず、また頂上が平でナビの誤差があるような気がした。帰りは、628.9mからのエスケープルートで峠にもどりました。

(11) 写真の添付:( 有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: